（陸軍郵便物認可）

時事新報

（日曜日休刊）　（定價金二錢）

時事新報定價
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵税ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰一日限	一日以上	七日以上	十六日以上
自一行至十行	銭七	銭六	銭五
自十一行至廿行	銭八	銭七	銭六
廿一行以上	厘六	厘三	厘二
八	銭七厘五毛	銭六厘三毛	銭五厘四毛
	銭八厘五毛	銭七厘四毛	銭六厘五毛
	銭九厘五毛	銭八厘五毛	銭七厘六毛
	銭五厘五毛	銭四厘五毛	銭三厘五毛
	銭五厘	銭四厘	銭三厘

第千五百一號
明治二十年二月二日　水曜日
庚丁亥正月十日　（戊戌）
日出午前七時一分　同入午後五時二十七分
月出午前十一時五十八分　月入午前零時四十六分
滿潮午後十一時四十七分　干潮午後十一時四十三分
（西暦一千八百八十七年）

時事新報

恐る可きは事の行違ひにあり

世の中に事の行違ひほど恐ろしきものはなく親子夫妻兄弟間の風波葬練れと始め親戚朋友間の不和確執等それ原を尋ぬるに眞實、互ひの意見合ひざるより怨を構ふるものとては甚だ少なく、して唯事情の相通せざるが爲めにその間れ行違ひより起るもの常に多きが如し左ればよや多年確執の朋友が偶然邂逅、心事を吐露して怨ちその行違ひを悟り一朝の面談に十年の積怨を散ずして再び無二の友誼を結びたる如き談は毎度世間に聞く所にして人生の不和怨恨多くい事の行違ひにありと知るべし

父子夫妻朋友親戚の間にて斯ける行違ひのあるものとすれば之よりいろの關係の疎遠なる政府と人民とは間に於て事情の通せざるが爲め往々事の行違ひあるい並し免るべからざるの數にして古來の歴史を觀るに當時に在て歴制暴虐の名を得又た實際人民を歴制暴虐しまる政府にあてその君相たるものゝ心事い思ひの外に優しくして毫も歴制暴虐の心なゝのとり事ろ人民を愛するれ心に乏しからざるしも全く事の行違ひよりして非常の禍亂劇變を招きさる事は古今其例少なからず佛國大革命の騒亂の如きは例中の最も著しきものなり路易十六世の如く國あやさしき心掛と以て佛國人民の憤怒と買ひ百世の下聞くに忍びざれ嫌話を歴史上に留めたるは事の行違ひより生じたる最も恐るべき例を示したるものといふべし我國にても明治十四年れ秋に政府の部内に重官の更迭ありて時の内閣員たる大隈參議以下其職を辞したりしが當時人の噂を聞くに在朝の某々は民間の某々と窃に和結び不容易れ企てをあしたる所謂政路顧るに及びて身を退きたり雖は某々の推擧に係るものなり故い某々れ徒黨に一味したるもれなりとく笑、罪もなき池魚に及びたるのみならず官池外の人にても爲に迷惑を蒙りたるもの少なかゝざりしといへり又丁度其頃一時政黨歴史の喧しかりし頃帝政黨といふものゝ組織せしものあり古色蒼然たる勤王説に時様の新口論を調合し我黨は今の内閣諸公と同主義なりと自から吹聴して政府の事とられば一も二もなく口を極めて稱賛を反對の者と見ては勤王の假面と被りて嘲り付けんとせるに世間にては一般に之を目して官權黨と唱へ取合ふものとてはあるりしが左るとても政府にてかゝる黨の所爲を看過するい不可思議れ至りなりさては政府も金々此黨と主義を同うするやと窃に推測を下して胸中早く既に不快の雲を起しかくて官民徹裏れ關互に邪推の雲に蔽はれく其折合とかく面白からず我黨をして勤王の官民調和説と章するの夢を破らしめたりしが今日に至りて之を觀れば當時日本國中にて何人も容易からぬ隠謀を企てたるものなゝ死は明々白々れ事實にあて又政府に於て我黨を組織せしめたる事あるいあるかしり事あらん畢竟情の相通せずあて互ひの思ひ違ひより起りたる事にて仮令へ一時れ行違ひとい云へ明治年間にかゝる一例を見出たるは誠に苦々しき次第ありと申すべし

されば事おとに就てよく相互の情を通じ行違ひの生ざる様、注意すべきは肝腎なる中に就ても政府と人民との間に於ては其注意最も大切あると知るべ之今や國會召集の期限も最早僅か二年の後に迫りたり若し政府と人民と互ひに其情と通せず百事すべて想像推測より成立つ事として永く鑿らず卒然國會に相見るが如き場合もあらんには種々些末の行違ひよりして無用れ煩勞を増しその恐れなしとも保證し難し決して等閑に附すべ兄事柄にあらざるなり左れば今日に處するの策は政府に於ても其政務中之を世に公けにするの事を憚るまとく又一方に常に之と世に公けにする事を憚るまとく又一方に向ては今の言論の拘束を自由よりして時に耳に餘るれ過言あるも海量之を容れて十分に献芹の意と盡さしめ官民上下の情よく通達して其間に行違ひを生ずるの虚隙あからしむるやう兼て注意するまと肝要おふんのみ

官報

○大藏省告示第十二號
一金一千萬圓
右ハ整理償還ノ爲メ來ル三月中抽籤執行ス
明治二十年二月一日　大藏大臣伯爵松方正義

○東京府告示第十三號
本月十一日ヨリ工藝品共進會事務所ヲ上野公園内ニ開設ス
但シ同日以後本會ニ係ル諸屆書類ハ該事務所ヘ差出スヘシ
明治二十年二月一日　東京府知事高崎五六

○天然痘豫防　神奈川縣に於ては目今北海道地方天然痘流行し追々蔓延の兆ある趣きの處特に當横濱港の如きは該地方と船舶の交通頻繁なるを以て自然該病流行の虞あるを保し編く現に同地方に航海する日本郵船會社陸奥丸及松前丸の如きは該船舶を置て來りたるとあり因りて爾來の同地方より來る船舶あるときは直に水上警察官をして同船に就き該病者の有無を檢査せしむるの手續を設けたり

○沖縄縣人口戸數職業別男女別近年人口增減調　男子八万二千八百五十五人女子八万九百八十一人計三十六万三千八百三十六人戸數七万四千七百四十九戸（十七年一月一日調）男十八万三千八百十九人女十八万二千四百八十八人計三十六万六千三百七人戸數七万三千九百三十一戸（十八年一月一日調）前年增（明九百六十四人女子五百七人）同戸數七万四千八百十六戸（十九年一月一日調）前年增（明九百十六戸）男十八万六千三百五十六人女十八万六千四百五十一人計三十七万二千五百十二人戸數七万五千八百四十戸（十九年一月一日調）前年增（千九百七戸）職工男二千五百三十七人女三千六百六十人計六千一百九十七人戸數七万三千九百三十一戸（十八年一月一日調）前年增（明九百